

モニタリング結果

指定施設:市川市立養護老人ホームいこい荘
指定管理者:社会福祉法人 市川朝日会

担当課:地域包括支援課

1. 令和5年度モニタリング結果

総合判定	良
------	---

評価委員の意見

法人全体の財務状況の問題はやや不安が残るところだが、入所者の処遇に対しては善処しており、全体的には適切な運営・管理がなされている。

講 評

協定書・仕様書に基づき適切に管理が行われており、第一次評価の手続き及び評価結果は妥当である。

【注】評価方法について

①評価基準についての考え方

評価	評価基準	評価点	項目数	合計評価点	満点
A	市の管理水準を超える結果であるとき	3	0	0	
B	市の管理水準を満たしているとき	2	41	82	
C	一部、管理水準を満たしていないが速やかに改善できる見込みがあり、改善指示を行うとき	1	1	1	
D	履行状況に著しく不適切な部分があり是正指示を要するとき	0	0	0	
計			42	83	100

②総合評価の方法

総合評価	合計評価点
優	90点～
良	60点～89点
可	～59点
改善	D評価の評価項目が1つ以上ある場合

☆:B・C・Dの3段階で評価

→項番12～15、23～24、26～29、32～34、37～41

※:B・Dの2段階で評価

→項番3、6～11、22

＜モニタリング結果評価表＞

市民（利用者）満足度について

項番	評価項目	評価
1	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B
2	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	B

施設の管理・運営について

項番	評価項目	評価
3※	修養に関し、積極的に教養講座を開設しているか。	B
4	慰安娯楽に関して、レクリエーションは充実しているか。	B
5	利用者の個人情報、個人情報の保護に関する法律に従って適正に管理されているか。	B
6※	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B
7※	一括委任、一括委託が行われていないか。	B
8※	施設の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外使用を行っているか。	B
9※	防火管理者は適正に配置されているか。	B
10※	市川市立養護老人ホームの設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B
11※	労働関連法令を遵守した雇用を行っているか。	B
12☆	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B
13☆	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B
14☆	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B
15☆	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B
16	備品は適正に管理しているか。	B
17	事故防止、安全対策がされているか。	B
18	事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	B
19	職員の配置・補充体制に関し、業務を遂行するための必要な従事者は確保されているか、労働関係法令を遵守した雇用を行っているか。	B
20	公の施設であることを認識した管理運営が行われているか。	B
21	施設の維持管理に関する業務が適正に行われているか。	B
22※	保健衛生を適切に行っているか。	B
23☆	感染症の予防措置は適切に行われているか。	B

事業の運営について

項番	評価項目	評価
24☆	指定管理者の財務状況は安定しているか。	C
25	情報の公開に努めているか。	B
26☆	入希望者に対し老人ホームのことを説明するとともに、入所手続きは適正に行われているか。	B
27☆	生活必需品は支給されているか、必要物品が貸与されているか。	B
28☆	預り金は適正に管理されているか。	B
29☆	各種手続きの代行業務が行われているか。	B
30	処遇計画に基づく生活指導及び適切な生活指導を行っているか。	B
31	郵便や通知等の取次は適切に行われているか。	B
32☆	健康管理を適切に行っているか。	B
33☆	医療に関する業務を適切に行っているか。	B
34☆	入退院の手続きを行っているか。	B
35	職員研修が適切に行われているか。	B
36	給食業務は適正に行われているか。	B
37☆	入浴業務は適正に行われているか。	B
38☆	内職のあっせんが業務の一部として認識しているか。	B
39☆	家族との交流に関する業務を実施しているか。	B
40☆	葬祭業務を実施しているか。	B
41☆	退所・施設変更の手続きは適正に行われているか。	B
42	地域社会との交流が図れているか。	B

2. 具体的な指示事項(改善期限)

項番24「指定管理者の財務状況は安定しているか。」について

法人全体の経営状況については、2期連続で増収となったものの、人件費の負担が大きく、サービス活動増減差額がマイナスとなり、最終の当期活動増減差額も対前年度比で大幅なマイナスとなっていることから、経営状況は回復途上にあるといえる。

また、財務状況についても、金融機関等からの借入の返済の負担が大きく3期連続で当期資金収支差額がマイナスとなっており、将来の支出に備えるための各種積立金を積み立てられるほどの余力はなく、事業を行うにあたり、安定した財務状況であると認められるには難しい状況にあるといえる。